

京都祇園祭の山鉾行事 (きょうとぎおんまつりのやまほこぎょうじ)

1. 提案区分：重要無形民俗文化財（風俗慣習：祭礼（信仰））

2. 都道府県名：重要無形民俗文化財の所在地

京都府：京都市

3. 保護団体：財団法人 祇園祭山鉾連合会

4. 指定年月日：昭和54年2月3日

5. 概要：

京都祇園祭の山鉾行事は京都市東山区祇園に祀られる八坂神社の祭りに行われる行事で、夏に発生しやすい疫病を除けることを祈願して行われる。1,000年近く前から始まったとされ、14世紀から15世紀には山形に松等の常緑樹を挿した舁山や屋根の上に真木がそびえる鉾等が出る祭りとしての形が整い、16世紀末頃には京都の町衆の富と心意気を示すように豪華絢爛な織物などを幕として懸け、鍔金具や彫り物などにも凝るようになった。

この行事は巡行の順番を決めるくじ取りや山・鉾建て、宵山、32基の山鉾による巡行など多彩な行事が行われ、それらの行事が町中(ちょうじゅう)と呼ばれる組織によって運営されているなどの特色が見られる。我が国の夏祭りの発生や変遷を知る上で欠かすことのできない祭礼である。

6. 写真



祇園祭の山鉾巡行
出発から注連縄切りまで



祇園祭の山鉾巡行 稚児舞